

平成 29 年度第 2 回「東京都伝統工芸品産業振興協議会」議事録

平成 3 0 年 3 月 7 日（水） 1 3 時から 1 4 時 3 0 分

都庁第一本庁舎 1 6 階特別会議室 S 6

事務局	<p>お待たせいたしました。</p> <p>ただいまから、平成29年度第2回「東京都伝統工芸品産業振興協議会」を開催いたします。</p> <p>委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の進行役を務めさせていただきます、産業労働局商工部経営支援課長の小寺と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>早速、次第を進めさせていただきます。はじめに、東京都産業労働局商工部長 坂本より開会の挨拶を申し上げます。</p>
商工部長	<p>東京都産業労働局商工部長の坂本でございます。</p> <p>各委員の皆様には大変ご多忙のところ本協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、皆様方には、平素より東京都の伝統工芸品産業の振興施策につきまして、ご理解とご協力を賜り、この場をお借りして、御礼申し上げます。</p> <p>さて、昨年12月に開催した本協議会におきまして、平成29年度の東京都伝統工芸士の認定及び東京都伝統工芸品、東京本染めゆかたでございますが、指定内容の変更につきまして、ご審議をいただきました。その後、都の内部手続きを経て、それぞれ決定をさせていただきました。</p> <p>伝統工芸士の認定につきましては、10名の職人を新たに東京都伝統工芸士として認定しました。ちょうど本日午前中に認定式を執り行い、認定証と盾をお渡ししたところでございます。</p> <p>また、東京本染ゆかた・てぬぐいへの名称変更につきましても、2月1日付で行い、既に周知をしているところでございます。改めて御礼申し上げますとともに、この場をお借りしまして、ご報告させていただきます。</p> <p>先日1月18日から23日の会期で、「東京都伝統工芸品展」を新宿高島屋で開催いたしました。昭和33年から実施し、今回で61回目となるものでございます。</p> <p>東京では大雪が降りまして、生憎の天気であったにも関わらず、多くの方にご来場いただき、昨年以上の売上を計上することができたと聞いております。</p> <p>今後も伝統工芸品産業の一層の振興を図るため、様々な施策を展開してまいります。協議会委員の皆様方のお力添えを改めてお願い</p>

事務局	<p>申し上げます。</p> <p>本日は、東京都伝統工芸品の指定につきまして、ご審議の程よろしく お願い申し上げます。以上簡単ではございますが、冒頭の挨拶とさせて いただきます。</p> <p>続きまして、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。</p> <p>淑徳大学人文学部客員教授 小澤 弘 様 武蔵大学人文学部教授 丸山 伸彦 様 武蔵野美術大学教授 森山 明子 様 特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟副会長 山下 陽枝 様 東京商工会議所中小企業部長 山下 健 様 東京都伝統工芸品産業団体連絡協議会会長 戸田 敏夫 様 東京都伝統工芸士会会長 五月女 利光 様 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター経営企画部長 近藤 幹也 様 教育庁地域教育支援部長 安部 典子の代理として、 教育庁地域教育支援部管理課長 清水 宏 産業労働局商工部長 坂本 雅彦 でございます。</p> <p>本日の協議会は、委員定数14名のうち、10名の委員が出席してお ります。「協議会設置要領」第7の2の規定による会議定足数を満たし ていることをご報告いたします。</p> <p>また、本協議会につきましては、同じく「協議会設置要領」第7の3及 び4の規定により、基本的に公開とし、議事録も公開することを併せて 報告させていただきます。</p> <p>議事に入る前に、本日の会議資料の確認をお願いいたします。</p> <p>次第のほか、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 平成29年度東京都伝統工芸品産業振興協議会委員名簿 ② 座席表 ③ 資料1 東京都伝統工芸品の指定関係資料のファイル ④資料2 東京都伝統工芸品産業振興対策規程集のファイル <p>でございます。不足等はありませんでしょうか。</p> <p>なお、資料1及び資料2につきましては、終了後回収させていただきます</p>
-----	---

<p>小澤会長</p>	<p>ますのでご了承ください。</p> <p>本日の議事進行に当たりまして、ご発言をいただく場合には、挙手をお願いいたします。事務局がマイクをお持ちします。</p> <p>それでは、ただいまから議事に移らせていただきます。</p> <p>議事進行は、昨年12月の本協議会において会長に選出されました小澤委員に引き続きお願いしたいと思います。小澤会長、お願いいたします。</p> <p>これより、議事に入ります。</p> <p>本日の議案であります「東京都伝統工芸品の指定」について審議したいと思います。</p> <p>審議に入る前に、会議形式についての提案があります。</p> <p>東京都伝統工芸品の指定につきましては、都が審議、検討または協議に関する情報であって、公にすることにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれる恐れがあるため、非公開が妥当と思われまますので、「東京都伝統工芸品産業振興協議会設置要領」第7の3の規定により、非公開で行うことをご提案いたします。</p> <p>委員の皆様いかがでしょうか。皆様よろしければ非公開と決定します。ご異議はございませんか。</p>
<p>全委員</p>	<p>異議なし</p>
<p>小澤会長</p>	<p>異議がないようでございますので、審議については、非公開とします。</p> <p>《非公開》</p>
<p>小澤会長</p>	<p>ただ今、委員で審議いたしました。</p> <p>本協議会の意見として、東京洋傘を東京都伝統工芸品として指定すべきであるといいたしました。</p> <p>ただし、原材料の化学繊維につきましては、絹、綿、麻と比較しても技術的には全く違いがなく、問題はないことを確認しておりますが、現在の要件に照らし合わると要件を満たしていないため、今回の指定内容からは除かせていただきました。</p>

事務局

組合役員の皆様、本日はご協力ありがとうございました。

以上で本日の議題は全て終了いたしました。

それでは、進行を事務局にお返しいたします。

事務局より連絡事項を申し上げます。

本日の協議会でのご意見を受けまして、近日中に東京都として伝統工芸品の指定を行うとともに、プレスリリースを行います。今月22日木曜日を予定しております。資料は、【資料1-⑥】となっておりますので、御参考にご覧ください。

委員の皆様への連絡事項でございます。再三のお願いで恐縮ですが、委員の皆様にお配りしたファイルにとじ込まれた資料につきましては、机の上に置いたままにさせていただきますようお願いいたします。

事務局からの連絡事項は以上です。

皆様、本日はありがとうございました。今後とも、伝統工芸品産業の振興に向け、ご理解・ご協力のほど、よろしく願いいたします。

これをもちまして、平成29年度第2回東京都伝統工芸品産業振興協議会を閉会いたします。

ありがとうございました。